



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年10月30日

上場会社名 サトレストランシシステムズ株式会社
 コード番号 8163 URL <http://www.sato-restaurant-systems.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役執行役員社長 (氏名) 重里 欣孝

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員副社長 (氏名) 重里 政彦

TEL 06-7222-3101

四半期報告書提出予定日 平成27年11月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	19,704	5.7	504	△9.5	428	△26.7	182	△40.3
27年3月期第2四半期	18,647	37.8	556	20.9	584	36.7	305	9.7

(注)包括利益 28年3月期第2四半期 163百万円 (△52.0%) 27年3月期第2四半期 341百万円 (15.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	5.88	—
27年3月期第2四半期	10.84	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第2四半期	27,813	14,821	52.9	442.74
27年3月期	24,272	10,456	42.5	365.89

(参考)自己資本 28年3月期第2四半期 14,702百万円 27年3月期 10,321百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末		
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	—	—	5.00	5.00	5.00
28年3月期	—	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00	5.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,900	7.7	1,260	6.5	1,220	△8.3	490	△41.7	15.29

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期2Q	33,209,080 株	27年3月期	28,209,080 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

28年3月期2Q	163 株	27年3月期	163 株
----------	-------	--------	-------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期2Q	31,066,059 株	27年3月期2Q	28,208,958 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づくレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①連結業績について

(単位：百万円)

	平成27年3月期第2四半期			平成28年3月期第2四半期		
	実績	対前年同期 増減額	対前年同期 増減率	実績	対前年同期 増減額	対前年同期 増減率
売上高	18,647	5,116	37.8%	19,704	1,057	5.7%
営業利益	556	96	20.9%	504	△52	△9.5%
経常利益	584	156	36.7%	428	△156	△26.7%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	305	26	9.7%	182	△123	△40.3%

当第2四半期連結累計期間の連結業績は、売上高につきましては、新規出店による店舗数の増加と既存店の売上が堅調に推移したことにより増収となりました。収益面につきましては、人件費の増加と平成27年6月度に実施した公募増資に伴う費用等により前年同期を下回りましたが、平成27年7月31日に公表いたしました第2四半期連結累計期間の連結業績予想に対しましては、水光熱費の減少ならびに販管費の適切なコントロールにより、発表数値を上回る結果となりました。

②出店施策について

(単位：店舗数)

業態名	前連結会計 年度末	出店実績	当第2四半期 連結会計期間末	当連結会計年度 出店計画
和食さと	198 (－)	1 (－)	199 (－)	3 (－)
すし半	14 (－)	－ (－)	14 (－)	－ (－)
天井・天ぷら本舗さん天	12 (－)	5 (－)	17 (－)	20 (4)
にぎり長次郎	52 (－)	－ (－)	52 (－)	4 (－)
にぎり忠次郎	3 (－)	－ (－)	3 (－)	3 (－)
かつや	23 (11)	6 (3)	29 (14)	16 (10)
都人	21 (20)	－ (－)	21 (20)	－ (－)
合計	323 (31)	12 (3)	335 (34)	46 (14)

() 内はFC店舗数

中期経営計画2年目にあたる当連結会計年度の出店予定数は、直営店とFC店合計で46店舗を計画しており、当第2四半期連結累計期間の出店実績としましては、「和食さと」業態で直営1店舗、「天井・天ぷら本舗さん天」業態で直営5店舗、「かつや」業態で直営3店舗、FC3店舗の計6店舗、全業態合計で12店舗をオープンしました。なお、上記出店済み店舗に加え、12店舗の出店契約をすでに締結しております(平成27年9月末日現在)。

海外展開としましては、現地パートナー企業と合弁会社を設立する方式を採用しており、平成27年5月にインドネシア2号店目となる「和食さと MOI店」を、同年9月にタイ2号店目となる「和食さと アマタホームプロ店」をオープンしました。また台湾で展開中の「鍋上都」1店舗を閉店した結果、海外店舗数は合計7店舗となり、国内外のグループ店舗数は342店舗となりました。

改装につきましては、「和食さと」業態にて6店舗、「にぎり長次郎」業態で4店舗実施しております。

③その他の施策について

ブランディング施策の一環として、各ステークホルダーとのエンゲージメントを高め、更なる企業ブランド向上を図るため、当社の魅力を伝えるブランディング書籍「店舗数日本一の和食ファミリーレストラン『さと』に学ぶ外食ビジネス勝ち残り戦略」を幻冬舎メディアコンサルティングより出版し、販売を開始いたしました。

各業態の営業施策として、和食さと業態にて、調理作業の効率性改善と品質の安定性向上を目的とし、ガスコンロ調理器に替え、プログラム機能付きIHコンロの全店への導入を9月より開始し、併せて新商品の投入、既存商品のブラッシュアップを実施いたしました。

「にぎり長次郎」業態におきましては、お客様に「旨い！」と言っていただける事を最大の喜びとし、金目鯛、太刀魚等、新鮮なネタを使用した旬メニューを実施するとともに、もっと多くの皆さまに「にぎり長次郎」 「CHOJIRO」をお楽しみいただくために、お客様参加型のWEB限定「長次郎検定」を開催し、ご好評を頂きました。

当社グループは、外食事業の単一セグメントであるため、セグメントの業績に関する記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、278億13百万円（前連結会計年度末比35億41百万円の増加）となりました。

(資産)

流動資産は、108億52百万円（前連結会計年度末比33億25百万円の増加）となりました。これは主に、現金及び預金の増加31億53百万円などです。

固定資産は、169億59百万円（前連結会計年度末比2億16百万円の増加）となりました。これは主に、有形固定資産のその他（純額）の増加1億1百万円、投資その他の資産のその他の増加1億円などです。

(負債)

流動負債は、67億52百万円（前連結会計年度末比5億32百万円の減少）となりました。これは主に、賞与引当金の減少1億54百万円、流動負債のその他の減少3億75百万円などです。

固定負債は、62億39百万円（前連結会計年度末比2億91百万円の減少）となりました。これは主に、長期借入金の減少3億15百万円などです。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、148億21百万円（前連結会計年度末比43億65百万円の増加）となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ21億53百万円増加し、76億85百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、49百万円（前年同期は同8億71百万円）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益4億19百万円、減価償却費6億38百万円、未払消費税の減少額3億88百万円、法人税等の支払額2億73百万円などです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、16億84百万円（前年同期は同5億34百万円）となりました。これは主に、定期預金の預入による支出10億円、有形固定資産の取得による支出4億24百万円などです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、37億13百万円（前年同期は8億67百万円の使用）となりました。これは主に、株式の発行による収入43億13百万円、長期借入金の純減3億2百万円、配当金の支払いによる支出1億41百万円などです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成27年7月31日の決算短信に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、
「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び
「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）
等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58－2項(4)、連結会計基準第44－5項(4)及び事業分離等会計基準第57－4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,532,308	8,685,404
売掛金	541,833	564,465
商品	36,395	37,579
原材料及び貯蔵品	651,647	703,000
繰延税金資産	250,648	192,523
その他	514,238	669,358
貸倒引当金	△477	—
流動資産合計	7,526,595	10,852,332
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	2,522,630	2,521,128
土地	4,742,506	4,742,506
その他（純額）	2,104,254	2,205,666
有形固定資産合計	9,369,391	9,469,302
無形固定資産		
のれん	1,206,282	1,161,328
その他	822,990	804,429
無形固定資産合計	2,029,273	1,965,758
投資その他の資産		
投資有価証券	822,623	840,121
長期貸付金	698,913	760,890
差入保証金	3,051,899	3,058,922
繰延税金資産	401,559	394,949
その他	383,435	483,744
貸倒引当金	△14,665	△14,294
投資その他の資産合計	5,343,765	5,524,334
固定資産合計	16,742,431	16,959,394
繰延資産	3,259	1,954
資産合計	24,272,286	27,813,681

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,111,667	1,130,850
1年内償還予定の社債	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	2,403,186	2,416,500
未払金	1,686,382	1,671,730
未払法人税等	297,104	277,629
賞与引当金	471,966	317,089
その他	1,214,125	838,535
流動負債合計	7,284,433	6,752,335
固定負債		
社債	50,000	—
長期借入金	4,398,835	4,083,643
再評価に係る繰延税金負債	289,282	289,282
繰延税金負債	84,719	81,342
役員退職慰労引当金	31,403	29,578
資産除去債務	478,446	492,311
その他	1,198,225	1,263,199
固定負債合計	6,530,912	6,239,357
負債合計	13,815,345	12,991,692
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,361,756	8,532,856
資本剰余金	2,810,575	4,981,675
利益剰余金	1,535,148	1,576,845
自己株式	△129	△129
株主資本合計	10,707,350	15,091,248
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	228,418	225,943
土地再評価差額金	△614,436	△614,436
その他の包括利益累計額合計	△386,018	△388,492
非支配株主持分	135,607	119,232
純資産合計	10,456,940	14,821,988
負債純資産合計	24,272,286	27,813,681

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	18,647,730	19,704,981
売上原価	6,358,194	6,745,579
売上総利益	12,289,536	12,959,401
販売費及び一般管理費	11,732,551	12,455,178
営業利益	556,984	504,223
営業外収益		
受取利息	6,401	6,881
受取配当金	8,602	8,938
受取家賃	51,021	51,020
為替差益	62,048	—
雑収入	36,834	25,098
営業外収益合計	164,907	91,938
営業外費用		
支払利息	79,512	70,857
不動産賃貸費用	41,914	41,320
新株発行費	—	28,261
雑損失	16,337	27,625
営業外費用合計	137,764	168,064
経常利益	584,127	428,097
特別利益		
固定資産売却益	4,129	—
特別利益合計	4,129	—
特別損失		
固定資産除却損	8,905	8,423
投資有価証券評価損	26,084	—
賃貸借契約解約損	2,400	—
特別損失合計	37,390	8,423
税金等調整前四半期純利益	550,866	419,674
法人税、住民税及び事業税	196,292	190,774
法人税等調整額	45,153	62,532
法人税等合計	241,446	253,307
四半期純利益	309,420	166,367
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	3,540	△16,374
親会社株主に帰属する四半期純利益	305,879	182,742

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	309,420	166,367
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	32,113	△2,474
その他の包括利益合計	32,113	△2,474
四半期包括利益	341,533	163,893
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	337,993	180,267
非支配株主に係る四半期包括利益	3,540	△16,374

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	550,866	419,674
減価償却費	626,228	638,871
のれん償却額	44,954	44,954
賞与引当金の増減額(△は減少)	△104,240	△154,877
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,007	△848
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	—	△1,825
受取利息及び受取配当金	△15,003	△15,819
支払利息	79,512	70,857
投資有価証券評価損	26,084	—
有形固定資産売却損益(△は益)	△4,129	—
有形固定資産除却損	8,905	8,423
賃貸借契約解約損	2,400	—
売上債権の増減額(△は増加)	△3,276	△22,632
たな卸資産の増減額(△は増加)	45,023	△52,536
仕入債務の増減額(△は減少)	△120,503	19,183
未払消費税等の増減額(△は減少)	215,720	△388,473
未払金の増減額(△は減少)	△175,589	△15,473
その他	△49,482	△164,069
小計	1,126,465	385,408
利息及び配当金の受取額	8,440	8,805
利息の支払額	△79,155	△72,038
法人税等の支払額	△184,742	△273,122
営業活動によるキャッシュ・フロー	871,007	49,052
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△1,000,000
有形固定資産の取得による支出	△425,624	△424,319
有形固定資産の売却による収入	4,239	—
投資有価証券の取得による支出	△18,582	△21,147
無形固定資産の取得による支出	△90,119	△29,930
差入保証金の差入による支出	△42,663	△54,806
差入保証金の回収による収入	85,491	42,203
建設協力金の支払による支出	△65,000	△168,000
建設協力金の回収による収入	44,211	47,484
その他	△26,895	△75,720
投資活動によるキャッシュ・フロー	△534,944	△1,684,235
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	800,000	1,000,000
長期借入金の返済による支出	△1,443,463	△1,302,162
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△89,457	△106,749
社債の償還による支出	△50,000	△50,000
株式の発行による収入	—	4,313,938
配当金の支払額	△84,626	△141,044
財務活動によるキャッシュ・フロー	△867,547	3,713,981
現金及び現金同等物に係る換算差額	11,465	74,296
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△520,020	2,153,095
現金及び現金同等物の期首残高	5,533,179	5,532,308
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,013,159	7,685,404

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成27年6月1日を払込期日とする一般募集による増資により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ2,171,100千円増加しております。

(セグメント情報等)

当社グループは、外食事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。